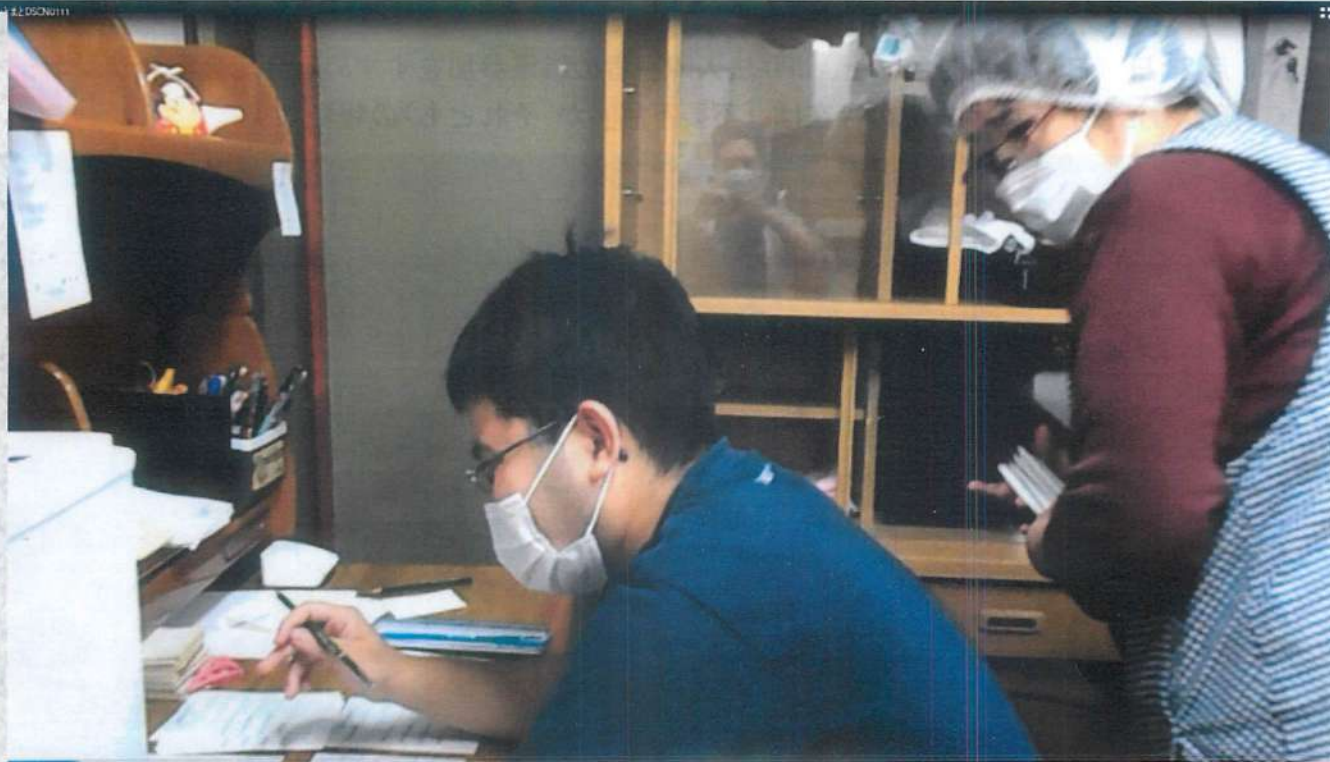


SSTL

NO. 69 2020. 9. 4

職場参加ニュース

「キッチンとまと」でユニークな実習中



大野言弥です。キッチンとまとで、電話番やってます。キッチンとまとは、宅配弁当屋です。電話番の仕事は、注文受付です。週に2回行ってます。受付時間はAM9:00~AM10:00です。早起きは、あんまり得意ではありません。でも遅刻しないでがんばってます。電話が大好きです。

当会が2018年にせんげん台西イオン並びにスタートさせた 就労移行支援事業所「世一緒」では、就労と生活に困難を抱える障害のある人々が、さまざまな形で就労してゆけるよう支援し、実績を重ねています。特別支援学校で不登校だった大野さんも、大好きな電話に関わる職場実習を、週3日・1時間半ずつ、生活クラブ生協のワーカーズコレクティブ事業所・キッチンとまとで行っています。ここは地産・地消をモットーにしたお弁当屋さん。当会とは越谷水辺の市や仕事おこし懇談会などで、協力し合っています。

①

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会



「障害者活躍」を問う

—その存在は「不要不急」かそれとも

6・28 総会記念シンポジウムを開催しました

6月28日(日)に開催された、NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会総会記念シンポジウム「障害者活躍」を問う—その存在は「不要不急」か それとも>の報告です。



「障害者活躍」ってなに?という人がほとんどではないでしょうか。その一方で、コロナ下で、会社でも地域でも障害者はいわば「不要不急」の存在として、社会参加や情報保障から遠ざけられ、ひたすら自粛してもらいたいという扱いを受けてきたことはマスコミ等でも一部報道されてきました。

今回のシンポジウムでは、「不要不急」の存在とされた側からのリアルな発信と併せて、にも関わらず今年度からすべての省庁・自治体に「障害者活躍推進計画」作成が義務付けられ、さまざまな障害者を雇用し、政策決定過程への障害者参画を推し進めるのだとされたこととの間の限りないギャップの前で、私たちすべてがどのようにふるまうべきかを検証し合いました。

上記のギャップについていえば、無視せず、避けず、さまざまな立場の人々と連れ立ちながら、ぎくしゃくと歩んでゆきたいと考え、このシンポを設定しました。

コロナ下でのシンポは、半数に入場制限された状況の下、あえて開催し、近くの世一緒に、さらには自宅での youtube による視聴も併せて、多くの方々の参加を得て開催しました。

縁の下の力持ちを務めていただいた方々を含め、ご協力に感謝します。

聴覚障害を持つ県職員たちの「活躍」で知事会見に手話通訳が付いた

聴覚障害を持つ県職員・清水克彦さんの熱弁。コロナ対策で知事会見が注目を浴びているが、埼玉県では手話通訳が付いていず、聴覚障害者団体等からの要望に対しても、高額な予算が必要なので議会の審議を経てとか、テキスト版を見てほしいといった回答に終始していた。

これに対して、清水さんをはじめとする聴覚障害をもつ県職員5人が要望書を提出し、マスコミ等で報道され、ようやくにして手話通訳が付いた。この一連のプロセスは、「障害者活躍推進計画」作成のための国の指針に書かれている「公務部門における障害者の雇用は、政策決定過程への障害者の参画において重要な意義をもつ」ということを、まさに裏書きしている。

この問題はまだ終わっていない。県は手話言語条例を制定しその中で災害時の情報保障を義務としているのに、当初は手話通訳をテキスト版で代用できるとしたり、手話通訳は莫大なお金がかかるから過重な負担とみなせるとしてきたこと自体、不当な差別ではないのか。清水さんは県の差別解消法窓口の障害福祉推進課に申し出たが、同課は差別に当たらないと言う。では、障害福祉推進課が差別を行っている場合、どこに申し出たらいいのか。

率先して障害者雇用に努めてきた自治体からは「活躍推進計画」に反発も

車いすのさいたま市議・伝田ひろみさんは、障害者の自立と政治参加をすすめるネットワークという全国組織の代表。



「障害者活躍推進計画」については、一昨年夏に雇用率水増しが明るみに出た自治体等が、今後のさらなる法定雇用率アップを前にこの計画作成に力を入れている半面で、これまでそれなりに雇用に努めて来た自治体では、「降ってわいたような計画で、強制的に作られる自治体はいい迷惑」、「計画を作ることにパワーがそがれ、知的、精神等の採用に力を入れられない」といった受け止め方もあると報告していた。

障害者に厳しい職場、でもその体験を生かし行政と

地域のパイプ役にも

NPO 法人視覚障がい者支援協会ひかりの森理事長で、自身視覚障害者の松田和子さんは、自治体職員として働く視覚障害の友人について述べた。後天的に目が悪くなり、いままでできた仕事がかなかできなくなった時、周りや上司の配慮がなされない。無視されたり、動かなければならない部門に回されたり、やさしいという言葉とは程遠い結果になっている。

日盲連には厚労省職員時代に失明し、職場復帰した人が、自分の体験を生かして相談を担当し、国とのパイプ役

としても活躍している。前から思っていたことだが、市役所の受付にもし車いすの人が坐って受付してくれたとしたら、その場面からすぐにここの市は共生の街づくりをすすめているんだなとわかると思う



知的、精神障害者等に現業含め仕事創出を、公契約条例活かし受注企業も



就労移行支援事業所「世一緒」支援員の大塚眞盛さんは、34年間、障害児学級・学校で教員として障害のある生徒たちの進路に関わって来た体験を踏まえて語った。これまで国連障害者の十年、障害者雇用促進法などに期待したが、すべて裏切られてきた。今回の障害者活躍推進計画も同様かという危惧はあるが、それでは始まらないので、確実に実行してほしいという気持ちでいる。

特に知的、精神障害者は、事務部門に限っての採用では難しい。計画の中の「新しい仕事の創出」は前向きだ。現業の仕事、たとえば清掃や給食業務などは、仕事内容を分析して考えていけば、いろいろな人たちが働ける。公園整備や樹木の整備もそうだ。市から仕事を請け負った業者の中にも、いろいろな障害者が仕事できる業種がある。越谷市には公契約条例があり、その施行規則の第2条には社会的価値を生み出さないといけないと書かれている。配慮されるべきことの一つに障害者雇用がある。

こういういい施策を生かしてほしいと思う。障害をもつ当事者や私のような「世一緒」支援者と市の担当者と一緒に、いまやっている業種の点検というか「この仕事ならやれそうではないか」ということを掘り起こしていく動きを試みてほしい。新しい柔軟な考え方で、仕事を創り出そうという意味でも大事だと思うと大塚さん。



シンポジウムでは、つぎに、コロナ下で「不要不急な外出」とか、「マスクが正しい」とか、「新しい生活様式」とかの公的メッセージによって、人の暮らしの営みが阻まれたり、障害者が共に生きられない状況が生じている中での各自の体験を伝え合った。

清水さんは、東日本大震災はじめ災害時にボランティアに応募したが、コミュニケーションがとれないからといつも断られてきた。今回、軽症者のホテル療養のボランティアに申し込んだが断られ、何か仕事をと要望し、試しで1週間。PCR検査の手伝い等。考えてやるのが仕事と思った。

大塚さんは、日本人のまじめが怖いと言う。この会場に半数しか入れないとか、マスクだとか。この状況の中で感染した子が治って登校してきても「近づくな」となるのでは。決められたことをその通りにやるのでなく、探り合っていくことがなければ、障害者も囲われてしまうかもしれない。

伝田さんは、大けがをして10月から3月まで寝たきりの生活だったので、ヘルパーに身の回りのすべてを頼んでいた。超密着の生活。ヘルパーが夜帰る時、明日も元気で会おうねと互いに励まし合った。病院ではこんな介助はしてもらえない。免疫力をと、ケガの前よりよく食べ、寝た。

松田さんは、視覚障害者は「密接」がなければ生きていけないと言う。買物先で白杖を持った人が「密接じゃないの？」と冷たい視線で見られる。だが、常に課題があるからこそ、視覚障害は財産。一人いることで周りが変わり得る。それは真の共生だと語る。

コーディネーターの朝日さんから、障害者活躍推進計画に関して地域で生きる市民からの期待や課題を提起していくことの大切さが指摘され、パネリストが各々語った。

その後、コメンテーターの越谷市役所のお二人、最後に朝日さんからまとめて代えてのひとこと。

伝田さん：元々「活躍させてやるぞ」と上から目線の感じ、障害者職員と一緒に作るべき。でも大塚



さんの言うように、新しい仕事の創出に少しは期待したい。明石市では広報の内容を知らせる明石手話チャンネルをyoutubeで立ち上げ、聴覚障害のある市職員が担当する。障害者だからこそできることがあり、それが市民のためになる。逆にコロナでは命の選別が企てられ、英の障害者団体が阻止した。差別を許さぬ社会を。



松田さん：こういう障害者がこういう仕事をしてますよということを、どんどん知らせてほしい。あと、コロナでは保健所と連携してないと大変だと思った。保健所や保健センターにも、必ず障害がある職員がいてこそ理解が深まると思う。市は障害者の育成事業として、まず視覚障害者向けの歩行訓練士を雇用してほしい。障害のある人はどうして生きていくかと周囲に働きかけて、自分を活性化させ、可能性をもっている。



大塚さん：もうひとつのポイントは採用試験。公務員になるには一定の競争倍率を生き残らねばならない。でも知的障害者は学科試験はまずゼロに近いと思う。いろいろな弱さをもった人が一緒に作る社会を考えた試験のあり方を。私の教員時代、臨採を1, 2年やったら学科試験免除になった。それを会計年度の人にも。あと知的障害者は競争社会で八方塞がりだが、たとえば実習をやってあとは抽選で採るとか考えてほし



い。
清水さん：かつて県税で働いた時、4日間の研修があり、手話通訳を要望したが断られた。通訳がなければ参加できないと言うと、障害福祉課の人が「4日間通訳付けるといくらかかるとか」と訊き「5万円かかる。税金泥棒だ」と言われた。4年後にやっと県では手話通訳が付いた。しかし、さいたま市を含め市町村はまだ。かつて、私が研修を休んだ時は変な人と思われた。組合の人が理由を聞いてくれて広めてくれた。



コメンテーターのお二人から・・・そして朝日さんから
齊藤秀樹さん(越谷市障害福祉課調整幹)

障害福祉課着任3ヶ月目です。松田さんの話から、コロナ下でスーパーの食品を視覚障害者が顔に近づけて見ているのを周りの人がよくわからず嫌な顔をするとか、避難所内での移動にも課題があるといった記事を思い起した。

石塚卓也さん(越谷市人事課副課長)

越谷市ではここ数年、臨時職員を数名ずつ雇っており、各課から切り出された仕事を共に行ってきた。障がい者活躍推進計画は3回の委員会を経て策定した。新たな取組の導入や計画の見直しなども行えるので、今日出されたことも踏まえて進めていきたい。

朝日さんからまとめて代えて：「活躍計画」と「コロナ」を切り口に語り合った。立場や状況により向き合い方や期待が異なる。集まって話し合い情報共有することが大事。役所の計画を遠巻きにするのではなく、民間事業所も参加できるように、総合して地域・職場への参加を考えていく計画を。コロナは誰にとっても制限、制約をもたらすが、だからこそ障害者の社会参加を考えてゆくことで、ほんとの意味でコロナに向き合っていく知恵と勇気が湧いてくるのではないかと。

記念シンポを終えて 参加者のひとこと

○特別扱いして欲しいのか 特別扱いして欲しくないのか わからない… (伊藤)

○かいじょうのひと いしょにきて よかったです。(あいざわかん)

○コロナウイルスに気をつけながら仕事ががんばります。すごくべんきょうになり、とってもよかったです。(萱場由梨)

○みなさんのお話をとても興味深く聴かせていただきました。3時間があっというまでした。

特に、清水さんの話、伝わるものがあってすごく良かったです。私も、手話ができなくても筆談でも十分コミュニケーションがとれるんじゃないかな…と思っていたところがあったので、「やさしさ」の話…目にみえない感情、他の言葉でたやすくおきかえられない感情を伝えることのむずかしさがあるんだということ、目からウロコの気づきでした。そのほかにも、災害ボランティアを断られた話とか、役所の研修で通訳を断られた話とか、よかったです。私もどうしても自分目線、健常者目線で考えてしまうところがあるので反省です。

あと、清水さんのハイスピードな手話と、それをほぼ同時に通訳する通訳者さんがすごすぎでした。かつこいー!! そういえば、「障害者活躍推進計画」の冊子…!!まだ議員に配布されていないです。コロナで配布するのを忘れてしまったんだろうか…。

私も、越谷の計画が「絵に描いた餅」にならないよう、一緒に行動していきたいです。これからもよろしくお願いします。ちゃんとまとめてフェイスブックにかきます!! (山田裕子)

○職場参加として 事業体のサービス対象を構成する「人」をまんべんなく構成するより職場体制が良いと思いました。公務、市役所、県庁などは、その地域にある問題を反映できる、職場を確保すること、障害当事者、暮らしに課題を持つ人。採用にあたっては、抽選や、申し出による当事者の採用もあると思う。

これらが今後の地域づくりにもつながると思います。民間企業についても同じことがいえると思います。

公が先頭をきって良いと思います。ありがとうございました。(小野達雄)

○各立場のパネリストから、自分と違う考えからの判断を聞かれたことが良かった。

活躍推進計画の主催者の早い取り組みに感心しました。それぞれの向き合い方が課題となるので、このような意見交換の場がほしい。(松田和子)

○障害者に対して風当たりが今でも強いんだなと感じ、特に手話に対してきびしく、もっと門をひらいて下さい。障害者に、もっと目を向けて下さる様をお願いします。障害者も人間なので。 (水島)

○障害者活躍推進計画が各自治体で作られています、それぞれの自治体の特徴を出す。あるいは特徴を表現されるのは難しそうだと思いました。

大塚さんが言っていたように、計画倒れに終わらないようにしてほしい。(大坂富男)

○良いシンポジウムだった。単なる自治体の計画ではなくて、きちんと実践していくことで民間の障害者雇用にも良い影響を与えてくれると良い。雇用率を上げるためだけ委託して「共に働く」と言うこととは全く次元を別にする会社が利益を上げているような状況を何とかしなければならないと思う。(伝田ひろみ)

○本日は貴重なお話を聞かせて頂きまして、ありがとうございました。現在、台東区の特別養護老人ホームに障害者の定着支援をしています。この仕事に携わるようになってから、多少障害者の方と働く事が、どういう事か、少しずつ理解できるようになってきたと思っていましたが、本日のシンポで多くの事を学び、まだまだわからない事がいっぱいあるなと思いました。全ての聴覚障害者が筆談ができるわけではない事を知りませんでした。私の職場には、身体障害の方はいません。色々な障害の方と共に仕事をし、困り事を知る事が重要と思いました。

聴覚障害者への情報保障ですが、ポケトークやグーグルトランスレーターのような自動翻訳システムがあれば、財政的な負担も少なく、良いのではと思います。(峯尾聡太)

○「障害者活躍推進計画」「コロナ」の2つのキーワードについて障害者就労の実際と経験の重要なエピソードを聴かせて頂きました。加えて、朝日先生のまとめも毎回素晴らしいものでした。

当事業所もA型事業所に対する役所の厳しい要請に必死に答えるべく、利用者に適応した仕事、施設外就労先を探して日々送っています。その成果として、利用者が日々成長していることが最大の嬉しさになっています。今後ともご指導の程、宜しく申し上げます。(北澤)

○今日は、こんごの仕事に向けてのきちょうな話がきけてとても良かったです。

ぶじに、かいさいできたことを、改めて良かったと思います。(野村)

○障害者の活躍推進計画に関する情報が欲しいと思っていました。例えば、策定に至るまでの過程、誰が策定委員の構成メンバーを決めるかという事が、一番の関心事でした。そういった情報をお持ちでしたら、教えて頂きたいと思います。職員当事者が入っているかなと…。本日は、コロナ禍の中での開催お疲れ様でした。次回も開催できることを祈っています。(匿名)

○清水さんの話 松田さんの話 に感動しました。(匿名)

○ちようかく障害者の方が、けんむしよに入っている事が多い、さいばんが多いという話にビックリしましたが、清水さんのお話をきいて、なるほどと思ったり、とても悲しくなりました。清水さんは「やさしい」という言葉のいみを知ったときき、なんとなくわかる気がしましたが、そう聞いて初めてちようかく障害者の生きてきた人生を考えました。もし、自分が、私の子供が、と考えたら、本当に切なくなりました。

TVで手話つうやくの方をみて、スゴいなあと思っていましたが、その方々がもっと活やくして、ちようかく障害者の方達が生きやすい世の中になあたらいいなあと思いました。(匿名)

○それぞれの障害者 この新型コロナに対してどう対処するか 三密をさけては対処できない 障害も多くある フレンドリー春日部市では、ソフトボール、卓球バレーの練習を開始しています。ニューオタニでは仕事の量は1/3に落ちています。(匿名)

○各自治体の人事の中にピアの人間を配置すべきではないか？(匿名)

2020年度会費、寄付、協力会費を納入いただきました(五十音順、敬称略)

【2020年度会費】

会沢完、青木繁明、阿久津康仁、朝日雅也、石田貴美子、伊藤峰子、上野豪志、内野かず子、大武昭、大塚眞盛、沖山稚子、尾谷英一、黄川田仁志、癸生川新一、佐藤恵美子、澤則雄、清水泉、清水泰代、鈴木照和、関一幸、莊子敏一、竹迫和子、田島玄太郎、巽孝子、巽優子、田中利昌、谷崎恵子、辻浩司、辻彩子、贄田俊之、西陰勲、乃木聡、長谷川顕、幡本洋子、原和久、原田真弓、樋上秀、日吉孝子、正木敬徳、前田直哉、松田和子、松田典子、松山美幸、水谷淳子、森田譲二、谷塚祥子、山川百合子、山崎かおる、山崎泰子、山崎有子、山下浩志、山田裕子、山本正乃、湯谷百合子、吉田久美子

【寄付】

上野豪志、大塚眞盛、大家けい子、関一幸、鈴木照和、莊子敏一、直井利雪、新相勝己、贄田俊之、西陰勲、増田真吾、松田和子、水谷淳子、富沢一枝、山下浩志

【運営協力費】

朝日雅也、田島玄太郎、贄田俊之

職場・地域つながりしんぶん

●きれいな花壇を作るため

6月29日、県営しらこぼと水上公園の花壇整備共同。植え終わってから1ヵ月経った花壇は、野草がびっしり育ち、土が見えなくなっているため草抜きをしました。世一緒の他に就労A型「プラネット」、就労B型「るりえ」のメンバーが参加してくれています。あなたもぜひ、一緒に働いてみませんか。



●毎年の恒例、ちんどんパレード

8月19日、「埼玉障害者市民ネットワーク」(野島久美子代表)が浦和駅から県庁までデモ行進し、県の担当者に大野知事あての要望書を手渡しました。一緒に考えるきっかけになれば…と、参加者は今年も周りの人の目に留まるよう、思い思いの格好をして街を練り歩きました。



●地域を共に生きる場に変えてゆくために

8月27日、28日の2日間に渡り、総合県交渉が行われました。今年は、世一緒は障害者達の仕事や暮らしを肉声で語りました。様々な分野でそれぞれの意見のすり合わせをしました。



●うんとこしょ会議

うんとこしょ会議は、生活クラブ生協の輪の周縁で、ケアシステムわら細工や障害者の職場参加をすすめる会等が参加して営んでいるゆるやかな場です。今年もできる範囲で互いの活動に協力し合い、来年の2月27日(土)にはまたみんなで越谷梅林公園に梅見に行こうと語り合いました。



●しらこぼと笛、お客様のもとに

Love Shirakobato プロジェクトは、9月11日、12日の2日間、イオンレイクタウン店 mori 花の広場で開催されている「しらこぼとマルシェ IN イオンレイクタウン」に出店し、たくさんの方にお立ち寄りいただきました。



職場参加をすすめる会

2020.9～202011 カレンダー

(2020年9月23日改訂)

| 2020年9月 | | | 2020年10月 | | | 2020年11月 | | |
|---------|------|----------------------|----------|------|-----------------------|----------|------|---------------------|
| | 日中行事 | ほか | | 日中行事 | ほか | | 日中行事 | ほか |
| 1日 | 火 | | 1日 | 木 | たそがれ | 1日 | 日 | わらじ大バザー(せんげん台第4公園) |
| 2日 | 水 | 当番会議 | 2日 | 金 | うんとこしよ会議 | 2日 | 月 | 水上公園作業(除耳鼻科除草) |
| 3日 | 木 | | 3日 | 土 | たそがれ | 3日 | 火 | |
| 4日 | 金 | すいごご年誌WT? | 4日 | 日 | うんとこしよ会議 | 4日 | 水 | 当番会議 |
| 5日 | 土 | どうよ世一緒 | 5日 | 月 | 水上公園作業 | 5日 | 木 | すいごご(吉原さん) |
| 6日 | 日 | | 6日 | 火 | 耳鼻科除草 | 6日 | 金 | たそがれ |
| 7日 | 月 | 水上公園作業(除耳鼻科除草) | 7日 | 水 | 当番会議 | 7日 | 土 | しらこぼプロジェクト |
| 8日 | 火 | 越谷水辺の市 | 8日 | 木 | すいごご(さん) | 8日 | 日 | わらじ大バザー予備日 |
| 9日 | 水 | すいごご小川輝さん | 9日 | 金 | 東越谷バザー物集め | 9日 | 月 | 水上公園作業 |
| 10日 | 木 | たそがれ | 10日 | 土 | ミニTOKO | 10日 | 火 | 耳鼻科除草 |
| 11日 | 金 | すいごご年誌WT? | 11日 | 日 | しらこぼとマルシェ | 11日 | 水 | 越谷水辺の市 |
| 12日 | 土 | | 12日 | 月 | ミニTOKO | 12日 | 木 | 水上公園作業 |
| 13日 | 日 | | 13日 | 火 | バザー値付け・しわけ(耳鼻科駐車場) | 13日 | 金 | すいごご(さん) |
| 14日 | 月 | 水上公園作業(除耳鼻科除草) | 14日 | 水 | 耳鼻科除草 | 14日 | 土 | たそがれ |
| 15日 | 火 | | 15日 | 木 | 越谷水辺の市 | 15日 | 日 | 世一緒deキネマ? |
| 16日 | 水 | 職場参加を語る会 | 16日 | 金 | すいごご(さん) | 16日 | 月 | 水上公園作業 |
| 17日 | 木 | Lunch Café どんこいしよ水谷 | 17日 | 土 | たそがれ | 17日 | 火 | |
| 18日 | 金 | たそがれ | 18日 | 日 | 水上公園作業 | 18日 | 水 | 職場参加を語る会 |
| 19日 | 土 | すいごご年誌WT? | 19日 | 月 | 越谷水辺の市 | 19日 | 木 | Lunch Café どんこいしよさん |
| 20日 | 日 | 東越谷バザー物集めポステイング | 20日 | 火 | バザー値付け・しわけ(耳鼻科駐車場) | 20日 | 金 | たそがれ |
| 21日 | 月 | | 21日 | 水 | 耳鼻科除草 | 21日 | 土 | しらこぼプロジェクト |
| 22日 | 火 | | 22日 | 木 | 職場参加を語る会 | 22日 | 日 | |
| 23日 | 水 | ピアサポート研究会 | 23日 | 金 | Lunch Café どんこいしよ 藤ヶ谷 | 23日 | 月 | |
| 24日 | 木 | すいごご(星名さん) | 24日 | 土 | たそがれ | 24日 | 火 | |
| 25日 | 金 | たそがれ | 25日 | 日 | 水上公園作業 | 25日 | 水 | ピアサポート研究会 |
| 26日 | 土 | 水上公園作業 | 26日 | 月 | しらこぼプロジェクト | 26日 | 木 | せんげん台(すいごごさん) |
| 27日 | 日 | ホワイトピット片付け作業(耳鼻科駐車場) | 27日 | 火 | 水上公園作業 | 27日 | 金 | たそがれ |
| 28日 | 月 | 水上公園作業(除耳鼻科除草) | 28日 | 水 | 耳鼻科除草 | 28日 | 土 | しらこぼプロジェクト |
| 29日 | 火 | | 29日 | 木 | ピアサポート研究会 | 29日 | 日 | |
| 30日 | 水 | | 30日 | 金 | せんげん台すいごご 鈴木平さん | 30日 | 月 | |
| | | | 31日 | 土 | たそがれ | | | |
| | | | | | しらこぼプロジェクト | | | |

31日 土 わらじ大バザー搬入

の中は、リハビリを兼ねた1～3時間内の屋外のアルバイトです。グループでやるので、初めての方でも大丈夫です。

しらこぼと笛

は、素焼きの鳩笛の絵付けと、その普及・販売のための研修や営業活動です。

すいごごカフェ

は、障害のある人や他の人々が日替わりゲストとなって、暮らしや仕事を語り継ぎます。あなたもどうぞ！

○茶色の字のスケジュールは、主に連携団体の主催行事で、一緒に参加できるものの紹介です。

○ほかのスケジュールは、主に小グループでの講座やミーティングです。詳しい内容についてはお問い合わせください。

9月30日(水)

星丘 匡史さん

埼玉県精神医療人権センター

30日はせんげん会世一様

こんな所あっていいの？

こんな豊かな日本で、こんな場所があっていいのだろうか、と思ったのが精神病院で働き始めた時の感想である。それから30年、中にいる人たちは自由になったのだろうか。

10月7日(水)

大坂 富男さん

埼玉県障害者市民ネット

強いられた不妊手術

「不良な子孫の出生を防止する」とうたった「旧優生保護法」はなくなったが。FNSドキュメンタリー大賞「きえない痛み～強いられた不妊手術」(仙台放送)を観て語り合います。

10月14日(水)

荻原 正男さん

農(あぐり)メンバー

特殊学級卒業生の人生

「普通に戻れるから」と言われて移った特殊学級はどんな所だったか。中学卒業と同時に入社した家具工場での仕事、若い職人や社長からの仕打ちに悩みぬきついに・・・そして現在

10月21日(水)

藤ヶ谷 理江さん

TOKOメンバー

21日はLunch Café どっこいしょ

共に学び育つ子ども達と

「問題」が起こるからこそ「自業自得な気分」も味わうし「汚れた下着は洗うぞ」と。変な子は分けていいと教える学校で、郁美が編み出す自分流の学びが子ども達をほぐす

10月28日(水)

鈴木 平さん

身体拘束廃絶願う会

28日はせんげん会世一様

私の息子との戦い

私の次男は、今から18年前に大学を卒業後、地元の栃木銀行せんげん台支店に入行している時発病し、3年前に病状が悪化して越谷の病院に入院し約3ヶ月ベッドに拘束させられていました。その病棟は悪夢でした。私は大熊一夫氏の映画にあるイタリアのトリエステ型の医療サービス体制が日本でも出来ることを切に願っています。

11月4日(水)

吉原 満さん

社福つぐみ共生会理事長

自立支援協議会って？

県や市町村にいつの間にかできた協議会—誰が、なぜ、なにを、どのように協議し、どんな役割を担っているのか？車いす当事者の視線から見えてきた風景は。

すいごごカフェ(第1、2、4、5水曜)もLunch Café どっこいしょ(第3水曜)も、NPO法人障害者の職場参加をすすめる会が主催する誰でも参加できるひろばです。Lunch Café は12:00からキッチンとまとのカレー(コーヒー付き300円)が食べられます

Café News F



[5月13日 野島久美子さん]

1人暮らしを始めたのが1985年。でも、一人だと何もできなかった。ご近所さんに介助を頼むようになった。当時はわら細工がなかったので、介助者

を見つけるのが本当に大変だった。だから、あの手この手で見つけて、名前と住所を聞いて…それで35年間やってきた。今では夜の泊り介助も必要なので、共栄短期大学や県立大の学生たちに介助を頼んでいる。これからもいろんな大学に呼びかけに行きたいなど思っている。



[5月20日 澤則雄さん]

テレビの仕事で24時間テレビを作っていたことがあったんだけど、僕はそもそも障害者が今置かれている環境から脱するのが幸せだという方向に持って

行く。欺瞞というか、本当に感動を呼ぶのかなと考えていたが、“感動ポルノ”という言葉に出会ってその通りだと思った。押し付けだなど。



[5月27日 遠藤未祐さん]

2018年12月、たまたまぶあくの窓に貼られた会計募集のビラを目にし、ちょうど働きたいと思ったタイミングだったので、運命だと思った。面接を受け、毎週

水曜に会計の仕事をするのが決まり、それから1年半くらい経つ。こんなに続くことはなかったので、あの時出会ったのはやっぱり運命だったんだなど。何もしたくないけど、とりあえず頑張っている。

[6月3日 吉原広子さん]

1982年～1995年、はばたく家準備会の専従職員として働いた。在宅の重度障害者達が、自分達で自立に向かって何かやろうとしたのがはばたく家準備会。料理



や勉強をしたり、武里団地で露店を出したりした。そして、署名を集めて、市長に「市から介助者を派遣してほしいという手紙を持ってきたのでよろしくお願ひします。」と毎日渡し続けた。



[6月17日 西陰勲さん]

西陰(お連れ合い・博子さん)：主人は1943年(昭和18年)、樺太で生まれた。障害者が外に当たり前に出て行く、そんな社会に変えたいということで、めだ

かの会や東武線にエレベーターをつくる会を作った。今、失語症になって自分が障害者になった。

樋上：西陰さんには、職場参加をすすめる会の運営委員として支えてきてもらった。西陰さんが事務局長で、誰もが暮らしやすい街づくり実行委員会も作った。バリアフリー点検をして、バリアフリーマップを作ったのが一番大きい成果。



[7月8日 太田洋平さん]

1979年生まれ。わら細工で働いている。良くも悪くも障害のある人と障害のあるなしで付き合ってるわけではない。自分は、人がこうだからこう変えるっていうのは無理。そんな器用じゃない。

嘘をつかないとか、思っていることを正直に言うことの方が大事だと思って生きている。



[6月24日 小田島栄一さん]

生まれは秋田県横手市。昭和19年生まれで、今76歳。「ピープルファースト東久留米」を立ち上げて25年。今はピープルファーストのガイドをやっ

ている。ピープルファーストでは、新聞をみんなで印刷したり、いろいろ売って、そのお金を給料にしている。入所施設にいた頃と比べると、今は自由に表に出られたり、買物できたりするのがいい。

世一緒スタッフ日記

近況報告

五十嵐

今年の夏はまだ暑いです。生活リズムを整えますので、やりがいのある気持ちがありました。せんげん台世一緒に立ち寄って手伝いぐらいは、しています。一生涯懸命やりますが、こまめに水分補給、休憩をとりながらしましょう。

勉強になります

半年前に初めて独協越谷病院のしようかいでここ、せんげん台世一緒にしようかいされてきました。健康管理とか整理せいとんとか勉強しながらがんばっています。ばどの体験、製本、いろいろ勉強になるのがんばっていききたいです。(X)

はじめまして

笹原涼子

7月に、千間台よいしよに入っ、野菜売りを、したり、ぱど折ってポストイングをしたりしました。

仕事が楽しいです

新井 里佳

私は今、あすなるの郷の清掃の仕事をしています。週3日です。今は、仕事をしていて、とても楽しいです。仕事ではクイックル、モップいろんな仕事をしています。清掃をしていて利用者さんにも「いつも、ありがとう」と言われ、とてもうれいす。清掃の仲間とも仲よくやれています。これからも仕事頑張っていきます。

やはり仕事はしたいです

野口明香

おとしまで福祉施設で、日勤Wと片一方の夜勤で、仕事をやらせてもらっていました。さすがにトリプルでやらせてもらっていた頃は、体調が崩れるのも、早く、慣れない時間帯は「タイムカード」を押してやるところではないと思ひ、体調くずしたのも早かったため、夜勤の時

がんばりたい

酒井

梅雨も明け、体調も良くなってきて、通所できる日もだんだんとふえてきました。まだ暑い日が続きそうですが、がんばりたいです。

仕事に対してのアドバイス

水島茂治

今、生きるために、年金と生活保護を受けています。もう65才で仕事が出来なくなりました。現在68才です。今、体の中はボロボロです。仕事のことですけど、出来る出来ないは別にして、すなおにかならずあやまって下さい。そして、かならずアトバイスして下さい。私からのアドバイスです。

充実しています

富樫千亜紀

会社では私は施設外就労の労働時間が前より短くなり、朝は九時に朝礼、会社(プラネット)からの出発は九時、過ぎの十二時四十五分までやっています。自分は今はダイエットの為に体をならす運動をストレッチ体操毎日夕方三時〜三時三十分間無料でやる体操をやっています。その前の時間はCAFÉ飲みに行っています。ボードとマシーンを使ってインストラクターの方が教えてもらって七十代〜百九才までやっている方がいていつも元気だなくと顔や名前か知っちゃってその人と一緒としゃべったりしています。毎日話しが合わなくてもしゃべれるから楽しいです。一回だけプラネットの仕事でピッキングの仕事をやりました。清掃やピッキングお菓子詰め替え作業。帰りが早くてひまになった。家に帰ったら得意な料理や今度やる水彩画とか水墨画もやろうと思ったりします。自分の会社も習い事も家の炊事も頑張ろうと思ひます。仕事も頑張ろうと思ひました。

二〇二〇年九月四日発行(毎月十二回 二と四と六と八の日)
一九九四年八月二十四日第三種郵便承認
発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 〒333-0851 川口市芝新町十五-九 アステール藤野1F